

厚生労働省指針13物質

文部科学省基準6物質

非配合

環境配慮型

水性

F★★★★

# Theハイクオリティ! 異次元の性能!

## 水性エクセルプライマー

素地を選ばないオールラウンドなプライマー

### 特長

- 1液水性タイプなのに高性能  
密着しづらいプラスチック・磁器タイル面等への密着が可能!!
- 唯一外部でも使用可能  
高い耐水性能により外部でも強力な密着性
- 危険物表示なく安全・環境対応  
有機溶剤が配合されていません
- 作業性良好  
壁面でもダレが発生しません
- 屋内での使用でも臭気が少ない  
いやな臭いがしません

### 用途

新設及び改修時の塗り替え用プライマー

### 製品仕様

品名	希釈率	容量	標準塗布量
水性エクセルプライマー	無希釈	12kg	0.07~0.1kg/m <sup>2</sup> ×1回塗りで120~170m <sup>2</sup>
		4kg	0.07~0.1kg/m <sup>2</sup> ×1回塗りで40~57m <sup>2</sup>
		1kg	0.07~0.1kg/m <sup>2</sup> ×1回塗りで10~14m <sup>2</sup>

### 性状・物性

試験項目	水性エクセルプライマー	試験条件
外観	乳白色粘稠液	
粘度	22秒	フローカップ23℃
密度(比重)	1.01	JIS比重計23℃
耐酸性	◎	硫酸3%水溶液3日間浸漬
耐アルカリ性	◎	Ca(OH) <sub>2</sub> 飽和水溶液3日間浸漬
耐水性	◎	水道水7日間浸漬
指触乾燥	40分	23℃
上塗可能時間	2時間以上	23℃

### 乾燥時間

5~10℃	6時間以上
10~20℃	4時間以上
20~35℃	2時間以上
35℃以上	1時間以上

### 標準工法

工程	材料名	使用量(kg/m <sup>2</sup> )	上塗可能時間(23℃)	備考
1	素地調整			施工上の注意事項をご参照下さい。
2	水性エクセルプライマー	0.07~0.1	2時間以上	原液のまま中毛ローラー、ハケ、スプレーにて塗布
3	一般水性塗料			各製品の仕様に従って下さい。ご使用の際は必ず各カタログをご参照下さい。



# 東日本塗料

## ● 基材に対する密着性

	基 材	水性エクセルプライマー
金属系 ※1,2	軟鋼板	☆水性サビ止めプライマーにて対応
	黒皮鋼板	×
	ブリキ	☆水性サビ止めプライマーにて対応
	アルミニウム	○
	ステンレス(SUS304)	○
	トタン	☆水性サビ止めプライマーにて対応
	電気亜鉛メッキ	×
	溶融亜鉛メッキ	×
	ガルバリウム鋼板	○
	ボンデ鋼板	×
	クロムメッキ	☆水性サビ止めプライマーにて対応
	銅板	○
プラスチック有機質系 ※3,4	塩ビ鋼板	☆フロン塩ビ防水面用プライマーにて対応
	アクリル板	○
	硬質塩ビ	○
	ポリカーボネート	○
	ABS	○
	ベークライト	○
	ポリエチレン(PE)	×
	ポリプロピレン(PP)	×
	デコラ板	○
	メラミン化粧板	○
FRP(成型品)	○※5	
無機質系	コンクリート・モルタル	○※6
	ケイカル板	☆カチオン浸透工プライマーにて対応
	ガラス板	○※4
	ホーロー	○
	陶器質タイル	○
屋根材	磁器質タイル	○
	素焼き瓦	○
	釉薬瓦	○
	アスファルトシングル	○

- 密着性                      ■下地処理方法
- :適    ×:不適                      ■:溶剤脱脂しケレン
- :ケレン
- :洗浄剤脱脂

## ● 各商品との密着性

商品名	水性エクセルプライマー	
	旧塗膜適性	上塗適性
シリコントップⅡ類	○	○
フロンプロテクトコート	○	○
ウレタントップ水性	○	○
アクアレスメル類	○	○
エコトップ	○	○
カワラコート	○	-
弾性トップ14	○※9	-
スーパートップ遮熱	○	-
ウレコート	○※9	-
セイフティファイラー	○	○
断熱コート	○	○
断熱コートEX	○	○
シリコン水性カワラ	○	○
シリコンクール	○	○
HNTシリコンルーフ	○	○
弱溶剤系(1液・2液)	○	○
ツインコートアクアHB	○	○

## ● 施工上の注意事項

- ※1.金属板には切削油や離型剤、錆等、塗料密着不良原因物質が付着している可能性がありますので、必ず脱脂、ケレンを行って下さい。
- ※2.金属に対する防錆効果はありません。錆を生じやすい金属等は、フラッシュラスト(点錆)を生じる可能性があります。
- ※3.プラスチック板には離型剤が付着している可能性がありますので、脱脂して下さい。
- ※4.変色の恐れがありますので、クリアー板(ガラス板等)の片面塗装、クリアー仕上げの下塗りには使用しないで下さい。
- ※5.FRPに関しては、十分にケンマを行い、密着性を確認の上、ご使用下さい。
- ※6.吸い込みの激しい下地の場合は2回以上、吸い込みが無くなるまで塗布して下さい。
- 7.床面への使用は、付着強度に問題を生じる恐れがありますので避けて下さい。
- 8.上記基材においては、十分に密着性の確認を行っておりますが、メーカー、種類によっては密着性が安定しない場合があります。また、新素材および特殊素材等は、十分にテストの上ご使用下さい。
- ※9.弾性トップ14面、ウレコート面は、十分に目粗しを行ってから塗装して下さい。
- 10.下地の錆、油、水分、埃等は完全に除去して下さい。
- 11.気温、躯体温度が5℃以下または湿度が80%以上の条件下での施工は避けて下さい。
- 12.施工後翌日までに、降雨、降雪が考えられる条件下での施工は避けて下さい。
- 13.結露、夜露の発生が考えられる条件下での施工は避けて下さい。
- 14.下地が脆弱な場合はカチオン浸透工プライマーをご使用下さい。
- 15.無希釈タイプです。ハジキの原因となりますので希釈は行わないで下さい。
- 16.立面に施工する場合、使用量が多すぎますとダレを発生することがありますので、ローラー施工の場合は短毛ローラーにて施工して下さい。
- 17.上塗りに強溶剤塗料は使用できません。
- 18.上塗りに他社製品を使用する場合、十分なテストの上、ご使用下さい。

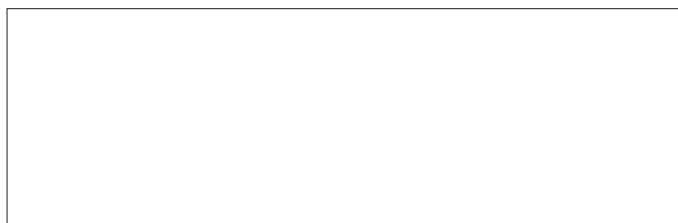
## ● 取扱い上の注意事項

- 1.開缶後は、速やかに使い切して下さい。
- 2.材料は、冷暗所に保管して下さい。また、施工現場での保管は、雨等が当たらないようにし、外部の野積みは避けて下さい。
- 3.目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 4.直接皮膚に触れないよう充分注意して下さい。もし触れた場合は、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
- 5.材料の保管、取扱いについては、消防法、労働安全法、その他に基づき十分な管理をお願いします。

- 6.動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時および施工後の換気を充分に行ってください。
- 7.塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時は、産業廃棄物として処理して下さい。

- ※アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。)
- 容器に表示されている注意事項をご参照の上、安全に施工して下さい。
- 詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
- ※SDSは弊社HPにて閲覧、ダウンロードしていただけます。トップページから製品情報のページにアクセスし、各種SDS一覧をご参照下さい。

●お問い合わせは・・・



## 東日本塗料株式会社



本 社 / 〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306  
 埼玉工場 / 〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518  
 仙台営業所 / 〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320  
 新潟営業所 / 〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730  
 静岡営業所 / 〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063



※製品改良のため、予告なく仕様、性能、カタログ内容を変更する場合があります。  
 ※諸官公庁等の特記仕様がある場合には、それを最優先して下さい。  
 ※このカタログは植物油インキを使用し、環境保全や大気汚染の低減に貢献しています。

URL <https://www.hnt-net.co.jp> CATALOG NO.5 '23.09.3000